本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

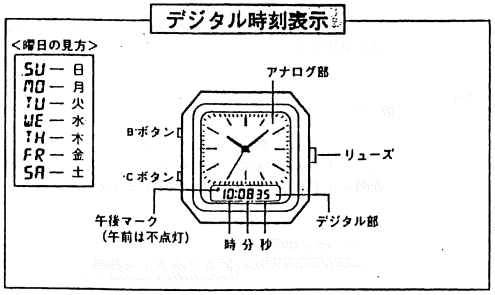
CASIO
アナログシリーズ（Y5）
1302
取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

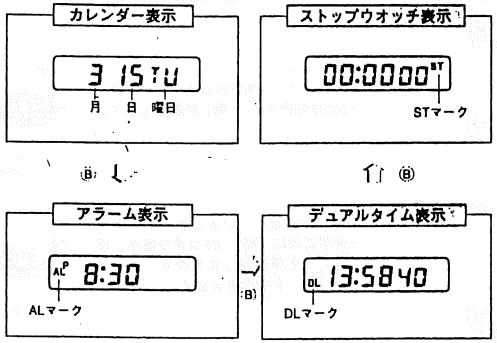
操作のしくみと表示の見方

Ⓑボタンを押すごとに以下の順でデジタル部の表示が切り替わります。（押すごとに確認音が鳴ります。）
※ 詳しくは各機能の項目をご覧ください。

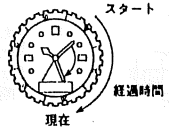
デジタル時刻表示



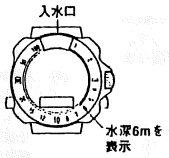
Ⓑ ※ 以下アナログ部省略 Ⓑ



● 回転ベゼルのついているものは経過時間の測定ができます。
回転ベゼルを回し、▼マークを分針に合わせるとその位置をスタートとして、経過時間を知ることができます。



● 水深計付きの機種は
水深計付きの機種は、水に潜ったときに、ベゼル部のチューブ内に入った水の先端の数字が水深（m）を示します。

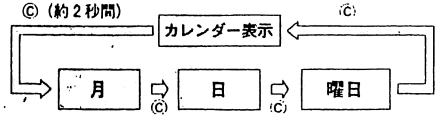


※ スキンダイビングでの水深測定の目安としてご使用ください。
※ 水深計には精度誤差がありますので、あらかじめご了承ください。
（0m～10m未満のとき…±2m、10m～100mのとき…±20%）
※ チューブ内に水が残っている場合にはさらに誤差がでますので、振ったり温めたりするなどして水を抜いてからご使用ください。（ただし、温める場合は、60℃以上の高温はお避けください。）

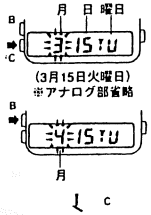
カレンダーの合わせ方

操作のしくみにしたがって(B)ボタンを押し、カレンダー表示にします。

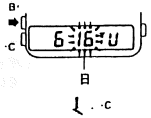
(1) セットしたい箇所（月、日、曜日）を選ぶ
カレンダー表示のとき、(C)ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所（月、日、曜日）を点滅させます。



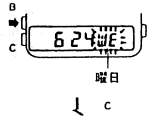
(2) 「月」のセット
Ⓒボタンを約2秒間押すと「月」が点滅します。
「月」が点滅しているとき、(B)ボタンを押すごとに「月」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「月」を表示させます。



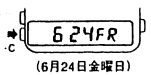
(3) 「日」のセット
「月」を合わせた後(C)ボタンを押すと「日」が点滅します。「日」も「月」と同様に(B)ボタンでセットします。



(4) 「曜日」のセット
「日」を合わせた後(C)ボタンを押すと「曜日」が点滅します。「曜日」も同様に(B)ボタンでセットします。



(5) 「曜日」のセットが終わりましたら、(C)ボタンを押すと点滅が止まり、カレンダー表示に戻ります。

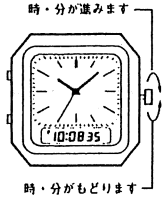


※ カレンダーのセットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まり、時刻表示に戻ります。

※ カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、電池交換時およびうるう年の2月29日以外は修正不要です。

アナログ部のセットのしかた

(1) リューズを引くと秒針が止まりますので、リューズを回して時刻を合わせます。
※ 右回り、左回りのどちらに回しても大丈夫ですから、どちらか近いほうを選んで合わせると早くセットできます。



(2) デジタル時刻表示の「秒」が秒針の止まっている位置と同じになったときリューズを押し込みます。
※ このとき、±1秒以内の誤差が生じることがあります。

ご使用上の注意（必ずお読みください）

防水性 ● 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ 専門的な潜水やスキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。

● 裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください

バンド ● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ● 直射日光が長く当ったり、高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ● 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因になります

磁気 ● 家庭用電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとっておりますが、強い磁気を発生する器具に近づけると一時的に遅れ・進みが生じることがあります。

薬品類 ● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

お手入れについて

お手入れのしかた ● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
● 「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します
・汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
● 「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります
● 「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります
・特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光色商品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください
● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります
● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントかしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

クリーンコートについて

● クリーンコートを施した皮バンドは、汗等による細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。
● 抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ・汗・水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください
● クリーンコートは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。常に清潔にしてご使用ください。

電池交換について

最初の電池 ● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります

消耗 ● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

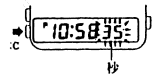
電池交換 ● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

デジタル時刻のセットのしかた

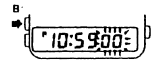
■ 秒の合わせ方…30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度くらい「秒合わせ」をしていただくと時刻はいつも正確です。

(1) デジタル時刻表示のときに、Cボタンを約2秒間押すと「秒」が点滅します。



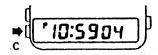
(2) 時報に合わせてBボタンを押すと「秒」が00秒からスタートします。



秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

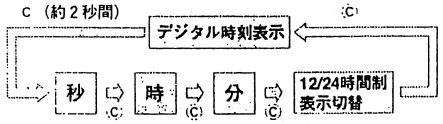
※ 時報は「時報サービス117番」が便利です。

(3) Cボタンを4回押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。

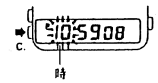


■ 時刻の合わせ方

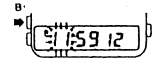
(1) セットしたい箇所を選ぶ
デジタル時刻表示のとき、Cボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2) 「時」のセット
デジタル時刻表示のときに、Cボタンを約2秒間押して「秒」を点滅させてから続けてCボタンを押し、「時」を点滅させます。

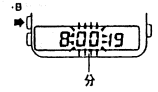


「時」が点滅しているとき、Bボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



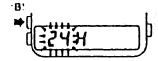
C

(3) 「分」のセット
「時」を合わせた後Cボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にBボタンでセットします。



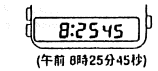
C

(4) 12/24時間制の切り替え
「分」を合わせた後Cボタンを押すと12/24時間制表示の切り替えとなり、Bボタンを押すごとに表示が切り替わります。



C

(5) セットが終わりましたら、Cボタンを押すと点滅が止まり、時刻表示に戻ります。



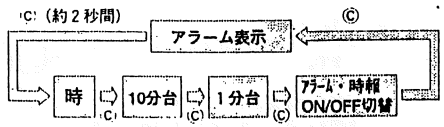
※ 時刻セットのときに表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方…操作のしくみにしたがってBボタンを押し、アラーム表示にします。

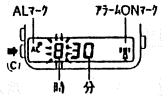
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間電子音で知らせてくれます。また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子音で知らせる時報もセットできます。
※ いずれもデジタル時刻にしたがって機能します。

■ アラームのセットのしかた

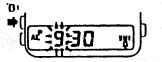
(1) セットしたい箇所を選ぶ
アラーム表示のとき、Cボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2) 「時」のセット
アラーム表示のときに、Cボタンを約2秒間押すと、「時」が点滅します。

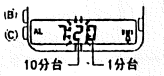


「時」が点滅しているとき、Bボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。

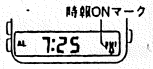


※ 「時」の午前／午後(P)にご注意ください。
※ 時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

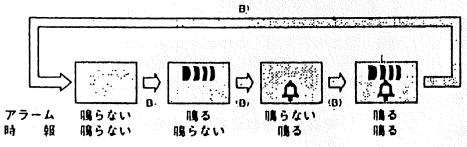
(3) 「10分台」「1分台」のセット
「時」を合わせた後Cボタン押して「10分台」「1分台」をそれぞれ点滅させ、「時」と同様にBボタンでセットします。



(4) アラーム・時報を鳴らすには
時・分のセットが終わりましたら、Cボタンを押すとアラーム・時報のON/OFF切り替えとなります。



このとき、Bボタンを押すごとにアラームONマーク（▮▮▮）、時報ONマーク（🔔）がそれぞれ以下のように点灯・不点灯をくりかえします。各マークとも点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



※ アラーム・時報を鳴らさないときは、各マークが点灯していない状態にします。

(5) セットが終わりましたら、Cボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

※ セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻表示に戻ります。
※ アラーム表示のままにしておくと1～2分後自動的に時刻表示に戻ります。

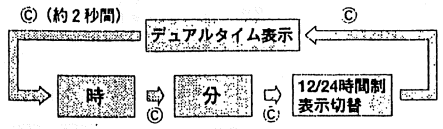
● 鳴っている電子音を止めるには
鳴っている電子音を止めるには、BかCボタンのいずれかを押します。

デュアルタイムの使い方…操作のしくみにしたがってBボタンを押し、デュアルタイム表示にします。

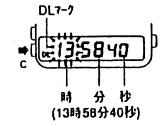
デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。（秒はデジタル時刻と連動）
また、現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、デジタル時刻を12時間制、デュアルタイムを24時間制のようにセットすることもできます。
また、加えてアナログ時刻も別の時刻にセットすると、合計3つの地域の時刻を表示することができます。

■ デュアルタイムのセットのしかた

(1) セットしたい箇所を選ぶ
デュアルタイム表示のとき、Cボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2) 「時」のセット
デュアルタイム表示のときに、Cボタンを約2秒間押すと、「時」が点滅します。

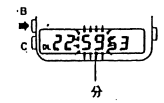


「時」が点滅しているとき、Bボタンを押すごとに「時」が1つずつ進み、押し続けると早送りしますので、合わせたい「時」を表示させます。



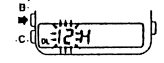
C

(3) 「分」のセット
「時」を合わせた後Cボタンを押すと「分」が点滅します。「分」も「時」と同様にBボタンでセットします。



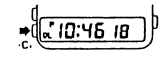
C

(4) 12/24時間制の切り替え
「分」を合わせた後Cボタンを押すとデュアルタイムの12/24時間制表示の切り替えとなり、Bボタンを押すごとに表示が切り替わります。



C

(5) セットが終わりましたら、Cボタンを押すと点滅が止まります。

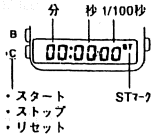


※ セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻表示に戻ります。

ストップウォッチの使い方…操作のしくみにしたがってBボタンを押し、ストップウォッチ表示にします。

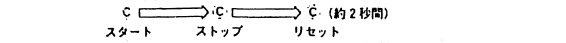
ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

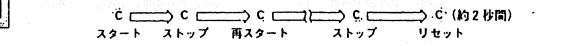


Cボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
計測終了後Cボタンを約2秒間押すと計測値がリセット（00:00 00表示）されます。
※ Cボタンを押すと操作確認音が鳴ります。

● 通常の計測



● 積算計測（ロスタイムのある計測）



製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
デジタル部表示方式：ＦＥ型液晶デジタル表示
基本機能：アナログ部…時・分・秒（3針）
デジタル部…時刻表示＝時・分・秒・午前/午後
カレンダー表示＝月・日・曜日（オートカレンダー）
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分　電子音＝20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒・12/24時制切替
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測
その他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、モニターアラーム
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップ　CMOS-LSI
常温携帯精度：平均月差±30秒以内
使用電池：SR-920W（電池別途販売）
※ 電池はカシオ製電池またはカシオ指定電池をお使いください。
電池寿命：約2年（1日当り電子音を20秒間使用した場合）

カシオ計算機株式会社
MA0941C